

研修医教育の充実をめざして ～救急ライセンス研修～

茨城県では、日本 ACLS 協会の協力のもと初期臨床研修医を対象に「救急ライセンス研修」として、AHA（米国心臓協会）公認プログラムの BLS コースと ACLS コースを開催しています。コースはともに AHA ガイドライン 2010 に準拠したものとなっています。



AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース（BLS コース）

成人、乳児、小児の一次救命処置、気道異物の除去、AED の使用を学びます。

AHA-ACLS プロバイダーコース（ACLS コース）

成人、乳児、小児の一次救命処置、二次救命処置を学びます。心停止のみにとどまらず、重症不整脈、急性冠症候群、脳卒中の初期治療を学びます。

研修初期から救急外来や病棟での患者急変時に戸惑うことなく対応できるように、そして将来の各地域における救急の指導医となってお活躍いただけるよう質の高い教育を行っています。専門医認定を取る際に AHA-ACLS の受講修了を要件とする学会も増えています。



23 年度受講者より

- ・ 1 つずつ step up してくり返し行ったため、スムーズに身につけることができた。(BLS)
- ・ インストラクターの熱い指導が心に響きました。(BLS)
- ・ 一つの症例に対するアドバイスとフィードバックができるシステムになっていたため、大変勉強になりました。(ACLS)
- ・ こういった場で一度しっかりと学ぶことは非常に重要だと思います。研修医 2 年目の必須でも良いのではないかと思います。(ACLS)

平成24年度の開催スケジュール

AHA-BLSヘルスケアプロバイダーコース（BLSコース）

	日程	場所	定員
1	8月19日（日）	筑波大学	30人
2	9月2日（日）	筑波大学	30人
3	9月30日（土）	筑波大学	30人

AHA-ACLSプロバイダーコース（ACLSコース）

	日程	場所	定員
1	8月18日（土）・19日（日）	筑波大学	20人
2	9月29日（土）・30日（日）	筑波大学	20人
3	11月24日（土）・25日（日）	日立市消防本部	20人

なお、受講料の一部を県から助成しています。詳細については、茨城県医師確保支援センターのホームページでご確認ください。また、他の日程をご希望の方は、日本 ACLS 協会茨城トレーニングサイトにお問い合わせください。

「これまでの経験のすべてが生かせる現場は、やりがいがあります」 ～診療所医師からのメッセージ

茨城県の北部、常陸大宮市の旧美和村にある診療所で地域医療を支える関根先生に、診療所の仕事の現状、地域医療への思いなどをお話いただきました。

…美和診療所での勤務の経緯は？

去年の4月から、自治医科大学の義務年限により県から派遣されて勤務しています。臨床研修2年が県立中央病院、3年目から5年目の3年間は常陸大宮済生会病院。オープニングから外科として勤務し、手術をさせてもらっていました。この病院は、県北の拠点病院としてつくられたので、運ばれてくる救急も多く、そちらを診ているのが半分ぐらいでした。初めは外科医になるつもりでトレーニングをしていましたので、急患を多く診ているうちに、気持ちが変わってきました。

6年目、7年目は県立中央病院に戻って、総合診療科で救急をやっていました。卒業後9年間の義務期間の最後の2年間は、美和診療所になりました。

…診療所の最初の印象はいかがでしたか？

常陸大宮済生会病院にいた時から、美和の道の駅にドライブにきたり、温泉のささの湯に来ていました。この地区には細い沢伝いに集落があり、初めて往診に行った時には、茨城にもこんなところがあるのかと思いました。でもここが特別かということ、県北の山間部にはまだ往診に来てくれる医者がいない地域もあり、ここはまだ幸せなんです。

常陸大宮市国民健康保険美和診療所

関根 良介



インタビューに答える関根医師

…現在の勤務の内容は？

午前中は8時30分から診療が始まって、早いと午後1時前後に終わることもありますが、どうしても外科出身なので、傷の患者さんが来れば傷を診るし、どこか痛いと言えばそれを診るので3時頃になる時もあります。それから休憩をして、午後は往診です。往診は少なければ1人から2人で、多いと6人ぐらいのときもあります。帰って来て4時ぐらいになり、予防接種などが入っている場合は6時頃までかかることもあります。医師は自分1人で、看護師さんが3人います。眼科と歯科以外の内容なら、相談があれば診察をさせてもらっています。

●健康管理も医師の仕事なんだと実感。

…診療所ならではのやりがいやご苦労は？

今まで内科の仕事をしたことがなかったので、ずっと座っているのが辛いです(笑)。僕は救急医というのもあり、具合の悪い人は、放っておけません。でもここでは、状態を聞くと「変わらないです」と言う方が多い。高齢の方がほとんどですから、血圧の薬をもらいにくる。自治医科大学の先輩には「具合の悪い人しか診られないだろう」と笑われるのですが、実際には医者というのはそれだけでなく健康管理も重要な仕事です。「新しい病気はつくらせない」と地域医療に取り組んでいる先生もいらっちゃって、そういうことも大事なんだとここに来て分かりました。高齢になるほど、どこが悪いのかで自身でも分からない。何が起きているのかを考えて対処しなくてはならないので、それはそれでやりがいがあります。

●自分の患者さんにできる限りのことをしたい。

…往診をされて感じるのは？

美和の冬は、寒いです。しかも、家の中の方が寒かったりします。お年寄りには室内を暖かくしているのかと思ったら、そうではなく厚着をしてじっとしている。運動しないといとどんどん体が弱ってしまうので動いてもらいたいと思います。また、病院まで来ることができない状況も目の当たりにしました。実際に往診に行ってみると、ご高齢の夫婦二人きりで暮らしている家も結構多い。病院まで来る足が、本当にないんです。具合が悪くなると、近所の人から連絡があります。一度診察している方は往診に行き、カルテもない方の場合は救急車で連れてきてもらって診察し、状態が悪い場合は総合病院に搬送するようにしています。

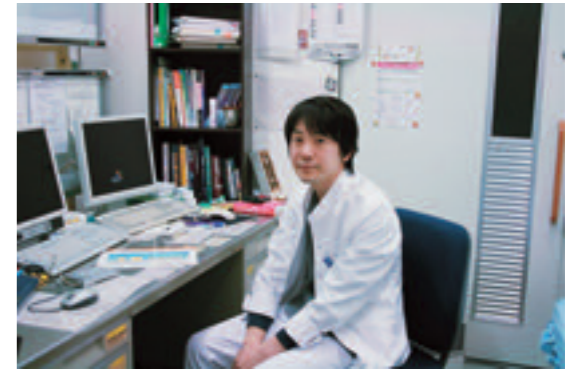
…今後の目標は？

やはり救急ですが、やっていることは今も同じようなものです。常陸大宮済生会病院の時は手術、ここに来て内科をやっていますが、内容的にはそんなに変わらない気がします。これからも具合の悪い人を、断らずに診ていきます。目の前の患者さんと向き合っていきたいし、自分の患者さんにできる限りのことをしたいです。

●県北は医師が少ないので、どんな分野もできる。

…医学生・研修医の皆さんにメッセージを。

僕は、山登りが好きなんです。山に例えると、救急の山、外科の山があったとしても、裾野ではつながっています。診療所に勤務して、裾野がすごく広がったし、裾野に関しては全部カバーしたいと思います。ここは、そういうことができる現場です。やる気があって、取り組みたい人にはおすすめです。県北は本当に医師が少ないので、どんな分野もできるし必要とされていますから、やりがいはあります。美和診療所のブログも書いていますので、興味のある方は見てください。



病院紹介コーナー

総合守谷第一病院

守谷市はつくばエクスプレス沿線で茨城県の玄関口に位置し、東京都心より40km圏内、秋葉原まで約35分という立地条件にあります。茨城県でもっとも面積の小さい市ですが、全国で第3位、茨城県では第1位の人口増加率であり、この振興著しい地域において当院は地域中核病院としての役割を期待されています。

病床数は203床ですが、内科(消化器科、循環器科、呼吸器科、リウマチアレルギー内科)、神経内科、心療内科、小児科、産婦人科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科など総合病院として広い範囲を網羅しています。また、ニーズの高い周産期・小児医療、および心疾患、脳血管障害を含めた救急医療にも重点を置いています。

地域医療の現場では、たくさんの軽症例のなかから問題のある症例を見つけ、診断、治療を勧めていくことが求められます。初期研修においては、そのどれもが貴重な経験になります。昨年、初期研修医を迎えて一例ずつを大事に



すること、患者さんの話をよく聞き、しっかり観察し、きちんとしたプレゼンテーションができること、いかに考え、学び、文章としてまとめる基本的能力を身につけてもらうことが大切か、改めて感じました。先輩医師が現場で働き、研修医の少ない当院では、こうした指導をきめ細かくできると考えています。また、コメディカルとの関わりも深く、研修の力になってくれるとともに、チーム医療の大切さも学べるはず。研修医の多い大病院では得られない、柔軟な研修内容や指導も当院の魅力となっています。

(副院長 遠藤優枝)

研修医Relay Essay リレーエッセイ

研修を開始してからの一年はあっという間でした。筑波メディカルセンター病院を臨床研修先に選んだのは救命救急センターとして一次救急から三次救急まで受け入れており、幅広い症例を数多く経験できると思ったからです。

研修が始まって、まず痛感したのは自分の知識のなさでした。救急当番では、walk-inの患者さんの初期診療を行うのですが、患者さんの訴えから鑑別を挙げ、診断していくことの難しさを強く実感しました。しかし、指導医の先生方が、その都度指導して下さるため十分なフィードバックを受けながら診療を行うことができます。また、専門科診療においては指導医の先生方の下で様々な手技を経験したり、チームの一員として患者さんの診療を行うことができ、日々多くのことを学んでいます。

来年からは2年目に入り、1年目の研修医が入职します。

筑波メディカルセンター病院
初期臨床研修医 影山あさ子



2年目の先輩方は常に頼りになる存在であったため、少しでも先輩方に近づけるようにこれからも頑張っていきたいと思っています。



小児科での研修風景。感染症が流行する時期、マスクは必須です。

臨床研修病院の見学ができます

県内の臨床研修病院では、医学生を対象に病院見学の受け入れを行っています。

	医療機関名	見学時間	対象	宿泊	問い合わせ先
1	水戸赤十字病院	随時（平日）	5～6年生	近隣の宿泊施設を紹介	担当者:企画課 TEL:029-221-5177（内3151） FAX:029-227-0819 e-mail:mito@mito.jrc.or.jp
2	水戸協同病院	平日又は第1,3土曜日午前	全学年	病院隣にホテルあり（自己負担）	担当者:庶務課 伊藤 TEL:029-231-2371 FAX:029-221-5137 e-mail:shomu310@abox.so-net.ne.jp
3	水戸済生会総合病院	随時	全学年	可能	担当者:総務課 山本 TEL:029-254-5151 FAX:029-254-0502 e-mail:m-hisyo@mito-saisei.jp
4	水戸医療センター	随時（平日）	5～6年生	可能（無料）院内の施設宿泊可能	担当者:教育研修部長 廣瀬一郎 TEL:029-240-7711 FAX:029-240-7788 e-mail:i.hirose.d@mn.hosp.go.jp
5	茨城県立中央病院	随時（平日）	全学年	なし	担当者:管理課 西連寺 TEL:0296-77-1121（内線2016） FAX:0296-77-2886 e-mail:kensyu@chubyoin.pref.ibaraki.jp
6	（株）日立製作所日立総合病院	随時（平日）	5～6年生	近隣の宿泊施設を紹介	担当者:総務グループ 石井 TEL:0294-23-1111（内線4234） FAX:0294-23-8317 e-mail:saiyou.nichibyoo.nx@hitachi.com
7	（株）日立製作所ひたちなか総合病院	随時（平日）	4～6年生	近隣の宿泊施設を紹介	担当者:事務局総務係 渡辺 TEL:029-354-6841 FAX:029-354-6842 e-mail:saiyou.nakabyoo.op@hitachi.com
8	土浦協同病院	随時（平日）	全学年	なし	担当者:庶務課 木村 TEL:029-823-3111 FAX:029-823-1160 e-mail:general@tkgh.jp
9	霞ヶ浦医療センター	随時（平日）	4～6年生	問い合わせてください	担当者:臨床研修担当 TEL:029-822-5050 FAX:029-824-0494 e-mail:3102sy01@kasumi.hosp.go.jp
10	筑波記念病院	随時（平日）	全学年	近隣の宿泊施設を紹介	担当者:臨床研修担当 横田 TEL:029-864-1212 FAX:029-864-8135 e-mail:yokota@tsukuba-kinen.or.jp
11	筑波大学附属病院	随時（平日）	全学年	可能（要相談）料金：2,500円～3,000円	担当者:病院総務部総務課（教育支援） 野口 TEL:029-853-3516,3523 FAX:029-853-3687 e-mail:kensyu@un.tsukuba.ac.jp
12	筑波メディカルセンター病院	随時（平日）	全学年	近隣の宿泊施設を紹介	担当者:総務課 谷田部千理 TEL:029-851-3511 FAX:029-858-2773 e-mail:kensyu@tmch.or.jp
13	筑波学園病院	随時（平日）	全学年	近隣の宿泊施設を紹介	担当者:経営企画室 笹島 TEL:029-836-1355（内線2341） FAX:029-836-1918 e-mail:kei-kikaku@gakuen-hospital.or.jp
14	東京医科大学茨城医療センター	随時（平日）	全学年	可能（無料）研修医の宿舎に宿泊可能	担当者:卒後臨床研修センター 飯島、田中、村松 TEL:029-887-1161（内線1490） FAX:029-887-1355 e-mail:ksotsugo@tokyo-ri-med.ac.jp
15	牛久愛和総合病院	随時（平日）	全学年	近隣の宿泊施設を紹介	担当者:人事部 野中宏修 TEL:029-873-3111 FAX:029-874-1031 e-mail:nonaka@jojinkai.com
16	つくばセントラル病院	随時（平日・土）	全学年	近隣の宿泊施設を紹介	担当者:経営企画室 久松辰男 TEL:029-872-1771 FAX:029-874-4763 e-mail:tatsuo.hisamatsu@central.or.jp
17	JAとりで総合医療センター	随時（平日）	5～6年生	近隣の宿泊施設を紹介	担当者:前田益考 TEL:0297-74-5551 FAX:0297-74-2721 e-mail:toride@medical.email.ne.jp
18	総合守谷第一病院	随時（平日）	5～6年生	可能（無料）研修医の宿舎に宿泊可能	担当者:佐川俊英 TEL:0297-45-5370 FAX:0297-45-5050 e-mail:sagawa@moriya.daiichi.or.jp
19	友愛記念病院	随時（平日・土）	5～6年生	遠方者には宿泊先を提供	担当者:総務課 稲見 TEL:0280-97-3000 FAX:0280-97-3001 e-mail:yuai@yuai-hosp.jp.org
20	茨城西南医療センター病院	随時（平日）	全学年	可能（無料）研修医の宿舎に宿泊可能	担当者:医局秘書 篠塚 TEL:0280-87-8111 FAX:0280-86-7702 e-mail:shomuka@seinan-mch.or.jp

茨城県からのお知らせ

茨城県医師修学資金貸与者の募集

- 募集人数：10人程度
- 貸与月額：10万円
- 対象者：県外大学の医学部に在籍する本県出身者及び筑波大学医学群医学類在籍者（県内出身・県外出身は問わない）
- 返還免除：貸与期間と同じ期間を県内の医師不足地域の医療機関で勤務した場合
- 申込期間：平成24年4月1日（日）～4月26日（木）※当日必着
- 面接日：平成24年5月5日（土）
- 面接会場：茨城県庁舎内会議室
- ※詳細は茨城県医師確保支援センターホームページをご覧ください。

茨城県では、地域医療に従事する医師の生涯にわたるキャリア形成を支援するため、平成24年4月から医師確保支援センターを「地域医療支援センター」に改編します。

茨城県医師確保支援センター

茨城県水戸市笠原町978番6（保健福祉部医療対策課内）TEL:029(301)3191

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/hoken/isei/ishikakuho/top/index.html> E-mail:i.doctor@pref.ibaraki.lg.jp